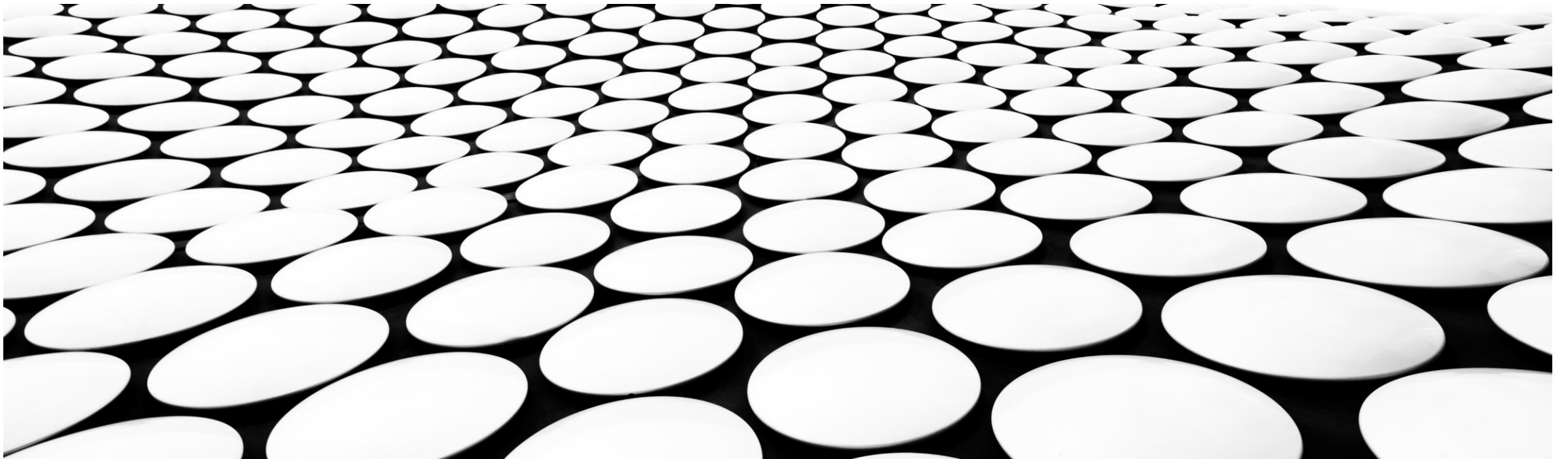

TOP FIELD JOURNALに論文を出すことの意義 **@THE MAKING OF MY RESEARCH ARTICLES (MMRA)**

JUN SUDDUTH (STRATHCLYDE)



INTRODUCTION

- 2013年米国のEmory大学でPhD取得
- 専門：Political Violence(IR conflict), Intra-Elite Politics (Comparative Authoritarianism)
- CPS、JCR、JPR、ISQ、JOP
- ソロ5本
- 2016年産休、2021年産休、2020年3月から2021年2月までの大部分がロックダウン+保育園完全閉鎖

1. トップ3とトップフィールドジャーナルの違い
2. 論文出版Strategyを形成する四つの要因
3. それをふまえて私が意識してきたこと
4. これからの目標（今までできなかった点）

政治学トップ3 と トップFIELD JOURNALの違い

- APSR・AJPS・JOP（トップ3）：

トップ大学ではテニユアの条件であることが多い

政治学全般の学者に読まれる、トップと認識される

Acceptanceの可能性が論文のMethodologyやトピックに非常に依存する（と思う）

Acceptanceの確立が非常に低い

政治学トップ3 と トップFIELD JOURNALの違い

- トップフィールドジャーナル：
 - Subfieldに特化したジャーナル（CPS、ISQ、IO、JCR、WP）
 - Subfieldの研究者にきちんと読まれる、良いQualityの論文と認識される
 - Subfieldの発展に重要な問いかけ
- （特に単著で）APSRを狙えるなら、狙わないといけない！！

PUBLICATION STRATEGY（目標とする量と質）を形成する 4つの要因

1. Institutional Factor（Tenure/Promotion at your institution）
2. Market Factor (Job Market)
3. Disciplinary Factor（Recognition in your subfield/discipline）
4. Research topic, methodology, training, time

1－3についてはオーバーラップすることも多いが（トップ大学）、しないこともかなり多い。

PUBLICATION STRATEGYを形成する3つの指標

Institutional Factor

- 自分が属する大学、機関でキャリアアップするために求められていることは何か
- いつまでにどのレベルのQuantityとQualityを達成しなければならないか
- 私の場合：
 - イギリスのREF
 - トップ3とトップField Journal (CPS、BJPS、JCR、IO、WP)が基本的には同ランク
 - 「トップ」フィールドジャーナルとそれ以外のフィールドジャーナルには差
 - REFサイクル (5-6年)

PUBLICATION STRATEGYを形成する3つの指標

Market Factor (Job Market)

- 自分が狙っている大学で求められる業績
- 私の場合：トップ3があるにこしたことはないが、ある程度の「量」と「QualityのConsistency」が求められる（Bookの予定は変更）

PUBLICATION STRATEGYを形成する3つの指標

Disciplinary Factor

- 該当する分野Subfield、もしくは政治学Discipline一般で重要な研究者として認められる
- ある分野の「専門家」としてSubfieldできちんと認識される
- Subfieldの進展に貢献したと認識される（ARPSなどでの言及）
- 私の場合：Intra-Elite Violence（Purge、Coup、Personalism）のトピックで重要な研究をする者としてのReputationを形成したい
- 私の場合：単著Book。HOWEVER

PUBLICATION STRATEGYを形成する3つの指標

そのほかの考えるべき点

- 書く能力：どのくらい早く一つの論文を完成させられるか
- メソッド：現時点までのトレーニングと能力、身につけるまでの時間とトレードオフ
- 自分が関心のあるテーマと一般受け：MeToo Movement、Pandemic、Democratic Backsliding

4つの指標をふまえて私が意識してきたこと（PUBLICATION STRATEGY）

- トップ3ではなくトップField Journalをターゲットにする（平均して2回目でR&Rをもらう。AJPS=>CPS）
- 「トップ」フィールドジャーナル以下には落とさない
- ソロ（単著）を多くする
- 専門分野、テーマの一貫性を「論文トピック」を決めるときによく吟味する
- トップ3は重要、が、その論文が自分のリサーチャーとしてのブランドを強化しているかも重要（例：私のJOP)
- Networkを広げ、自分の研究を知ってもらいたい人とつながる（例：学会でパネルをつくる）
- 「最初にやる」ことの重要性（問い、新しいデータの提供）
- 自分の能力を知る

今後の目標

- ある程度ではあるが、専門分野での認知度を上げるという当初の目標は達成できた。
- HOWEVER、トップ研究者との差は次の点でかなり大きい（＝後悔＋これから数年の目標）
 1. 単著のBookをトップUPから出す（分野によってはもっとも重要な指標）：
 - 何をやった人か（ブランド）
 2. トップ3を目指す（リスクをとる）
 - 共著にシフト（ある程度、自分の専門性、認知度を確立できたので）
 - メソッド・データ取得方法のアップグレード
- 3. グラントの獲得（Institutional Factor）